

秘

甲

社長



常務

事務

監査役

支配人

課長

掛長

掛員

昭和

昭和七年六月八日 田決裁

昭和

七年 月 日 起案

總文第

四九

號

日光軌道貨物輸送能力調査一件

首題一件 昭和七年六月八日ヲ以テ別紙一通ヲ照會

有之調査結果ニ就テ別紙一通ヲ回答相成可

然哉

別紙一

古電外第二六號

昭和十六年十一月十一日

古河電氣株式會社

專務取締役 鈴木元

字

東武鐵道株式會社

社長 根津藤太郎殿

日光軌道貨物輸送能力調査依頼ノ件

拜啓初冬之候ニ御座候處貴社益々御繁榮之段奉慶賀候
弊社貨物輸送ニ付テハ毎々一方ナラザル御盡力ヲ相煩シ御蔭様ニ
テ圓滑ニ原料及製品ノ輸送ヲナシ得ルハトハ貴社従業員各位ノ御
努力ノ致ス處ト厚ク御禮申上候弊社日光工場モ遂年擴張ヲ重々日
光驛工場間ノ原料及製品上下輸送量ハ一ヶ月一萬噸乃至一萬三千

會合聯体團術技學科本日全

地番三日丁一町錦區田神市京東
(番〇二線内) 五〇七四・四〇七四 田神市電

他ニ及ビ居候殊ニ層下起工中ノ新工場完成ノ曉ハ一ヶ月ノ輸送量
二萬噸ニ及ブ豫定ニ有之本年一月三十一日付ヲ以テ日光自動車電
車株式會社殿ニモ貨車新造方御依頼致シ置キ候得共貨車新造計畫
ト併行シテ別途輸送力強化ノ手段トシテ左記事項御調査相煩シ度
御依頼申上候
一、東武日光驛ヨリ日光工場迄日光軌道ニ十五噸貨車ヲ乗入シ得
ルヤノ調査

二、鐵道省十五噸貨車ヲ日光軌道ニ乗入シ得ル様改良工事ヲナシ
得ルヤ否ヤノ調査

三、一ヶ月重量六十五噸程度ノ重量貨物ヲ日光軌道ニテ輸送シ得
ル様改良工事ノ調査

四、東武鐵道客車ヲ日光工場出勤及退社時刻ニ工場迄乗入シ得
ザルヤノ調査

以上

33p
あ
ん
二

昭和 年 月 日

東京市本所區小梅一丁目二番地

東武鐵道株式會社

古河 取締役社長 根津 嘉一郎

中 田 三郎

古河電氣工業株式會社

事務取締役 鈴木 北 殿

日光軌道貨物輸送能力調査ノ件

昭和十六年十一月十一日付古電外第二六號ヲ以テ御申越相成候
首題ノ件左記ノ通り及回報候

記



東武鐵道株式會社

元來日光軌道ハ觀光旅客ノ輸送ヲ目的トスル極メテ輕量電車ヲ
運轉スルタメ設備セルモノニシテ之ヲ重量貨物ノ輸送ニ使用ス
ルハ原則的ニ適當ナラズ從ツテ改良計畫ニモ監督官廳ノ特別認
可ヲ前提トスル事項アリ之ガ實施ニハ幾多ノ困難ヲ豫想セラル
、モ一應調査セルトコロヲ記述スレバ次ノ如シ。

一東武日光驛ヨリ日光工場迄日光軌道ニ十五應貨車ヲ乗入レ得
ルヤ

A 東武日光驛構内ニ於テ東武線ト日光軌道ヲ十五應車ヲ直
通スル如ク連結スルコト不可能ニアラズ

概 算

二十リッあ 圖

B 十五應貨車ヲ日光軌道ニテ日光工場マデ乗入ル、タメニ
ハ

1、曲線半徑ヲ最小一〇〇米（現在一一米）ニ改良スルヲ

要ス

但シ神橋附近ノ曲線緩和ニ伴フ改良ハ相當風致ヲ損ス
ルモノト思考ス

概 算

四十萬圓

2、全面的ニ勾配ノ緩和ヲ理想トスルモ實情ハ勾配變更
ハ不可能ナリ、從テ最急勾配ヲ千分ノ六二、五トシ十
五應車四輛ヲ牽引シ得ル重量五十五應程度ノ電氣機關
車ヲ使用スルヲ要ス

概 算

勾配整理 二十萬圓

電氣機關車
(二輛分) 四十萬圓

3、現在ノ橋梁ハ極メテ脆弱ナルヲ以テ架換ヲ要ス

概 算

二十五萬圓

内 神橋 十萬圓



東武鐵道株式會社

田母澤、荒澤 十五萬圓

4、待避線ノ分歧器ヲ八番型（現在五番型以下）ニ更換
ヲ要ス

概 算

十萬圓

5、車体ノ幅員増大ニ伴ヒ沿線ノ建築限界支障物ヲ直線
部三〇二耗曲線部三八二耗移轉撤去ヲ要スルモ、實情
ハ實施困難ナルヲ以テ建築限界ノ縮小ニ對シ特認ヲ得
ル要アリ。

但シ右特認ハ交通保安上極メテ困難ナリト想像セラル

6、前述費額合計

百六十萬圓

ニ鐵道省十五應貨車ヲ日光軌道ニ乗入レ得ル様改良工事ヲ施
シ得ルヤ

省十五應貨車ヲ省日光驛ヨリ直接日光軌道ニ乗入ル、事ハ

不可能ニアラザルモ、栃木、久喜、栗橋等ノ省社連絡驛ヨリ東武線經由シ乗入ル、便法アリ

但シ第一項ノ諸施設ヲ要スルコト勿論ナリ

一箇ノ重量六十五噸程度ノ重量貨物ヲ日光軌道ニテ輸送シ得ル様改良工事ヲ施シ得ルヤ

第一項ノ諸施設ヲ行フニ於テハ省有重量貨物運搬用特種車輛ヲ使用スルコトニヨリ輸送可能ナリ

東武鐵道客車ヲ日光工場出勤及退社ノ時刻ニ工場迄乗入レザルヤ

車長、車幅ノ關係上現在ノ併用軌道ニテハ之ヲ改良スルコト不可能ニ付東武本線規格ノ鐵道線路ヲ東武日光驛ヨリ延伸スルヲ要ス、線路延長約六、三杆

概算 線路關係三百五十萬圓



東武鐵道株式會社

電化關係 二十七萬圓

車輛關係 五十四萬圓

計 四百二十一萬圓

純工事期間 三十六箇月

結論

以上ヲ要スルニ現在線ノ改良ハ建築限界ノ特認ヲ得ラル、場合ニ於テ尙十五噸車ノ運轉ヲ限度トシ、建築限界ノ特認ヲ得難キ場合又強ク豫想セラル、ヲ以テ寧ろ東武本線規格ノ線路ヲ東武日光驛ヨリ日光工場マデ延伸スルノ根本的解決案ヲ適當ト認ム。